

- 1 主題名 内容項目A(3) 節度・節制
- 2 教材名 「流行おくれ」(新しい道徳5)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目【A(3) 節度・節制】では、「安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。」をねらいとしている。この内容項目には二つの要点が含まれている。本時では、要点の一つ、特に進んで自分の生活を見直し、自分の置かれた状況について思慮深く考えながら自らを節制し、よりよい生活をしていくことをねらいとして授業を行う。物が豊富にある日常の中で、物を大切にすることの良さに気づき、節度ある生活を送ることの大切さを理解してほしいと考え、本主題を設定した。また、児童一人一人が、自分自身の生活を振り返りながらよりよい生活を送っていきけるよう指導していきたい。

(2) 児童の実態について

【児童の実態】5年2組 26人 令和3年10月13日実施

①物を大切にしていますか?	はい 26人	いいえ 0人
②欲しい物がありますか?	はい 24人	いいえ 2人
③欲しい物があるときはどうしますか? (複数回答)	・親にねだる 11人 ・お金をためる 6人 ・行事に買う 4人	・自分で買う 9人 ・ごほうび 5人

意識調査の結果を見ると、「物を大切にしている」と答えた児童が26人で、「物を大切にしていない」と答えた児童が0人である。結果を見ると物を大切にしている児童しかいないことがわかる。また、欲しい物があるときには、親にねだって買ってもらったり、自分で買ったりする児童が多い。しかし、クラスの中に設置してある落とし物箱には、多くの落とし物があることが現状である。そこで、自分の生活を見直し、物を大切にすることの良さに気づいて、節度のある生活をしようとする心情を育てたい。

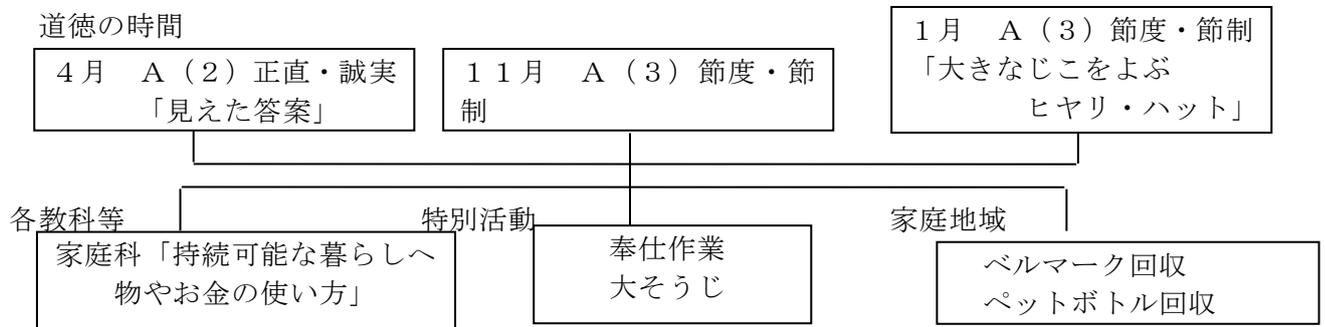
(3) 教材について (教材名「流行おくれ」出典：新しい道徳5 東京書籍)

本教材は、流行のジャケットがほしくて仕方がない「まゆみ」の話である。まゆみは母親に流行のジャケットが欲しいとねだるが母親は「洋服はあるでしょう。」と言って取り合わない。

欲求のままに行動する「まゆみ」と欲しい物があるけれど欲求を抑えて行動する弟が対照的に描かれている。まゆみの多様な心情を考えさせることを通して、節度を守らないと自分や周りの人の快適な生活を乱してしまうことに気付かせ、物を大切にするという心情を育てたい。

4 関連

道徳の時間



5 本時の指導

(1) ねらい

自分の生活を見直し、物を大切にすることの良さに気づいて、節度のある生活をしようとする態度を養う。

(2) 準備・資料

タブレットPC、挿絵、プロジェクター

(3) 展開

主な活動	予想される児童の反応	支援と手立て・評価
<p>1 節度・節制に関するアンケートの結果を見て、話し合う。</p> <p>2 学級に設置してある落とし物箱を見て、話し合う。</p> <p>3 本時の課題を確認する。 物を大切にするとはどういうことなのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物を大切にすることが多い。 今欲しい物がある人がいる。 ずっと大切にしている宝物がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級で行った、意識調査の結果をもとに、意見交流させる。 調査結果をプロジェクターに映し、結果を捉えやすくする。
<p>4 教材「流行おくれ」を読んで話し合う。</p> <p>(1) みどりがはやっている服を着ていくことを知ったまゆみはどんなことを考えていたのだろう。</p> <p>(2) 自分の部屋にかけ上がったまゆみは、どんなことを考えたのでしょうか。</p> <p>(3) なぜ母親はすぐに OK を出さなかったのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ていねいに使う。 ずっと使う。 うらやましい。私もほしいな。 お母さんに買ってもらう。 私の気持ちは考えてくれないんだ。 もうお母さんにはお願いしない。 物を大切にしない人になってしまう。 我慢できるようにさせたかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と児童が一对一の対話にならないように、発言する際の指名は児童が行う。 必要に応じて担任が意図的に指名をし、価値を追求できるようにする。 発問や挿絵を黒板に掲示することで視覚的に捉え、考えやすいようにする。 まゆみがはやりの服を欲しくなってしまう気持ちを考え、「自分だったらどうなの?」と問いかけ、自己を振り返りながら考えられるようにする。 「みどりは物を大切にしていないのか」とゆさぶり、考えが深まるようにする。 母親の思いを問うことで自分が欲しいものが手に入らない気持ちについて深く考えさせる。 母親が「なぜ、まゆみにすぐに OK を出さなかったか」について考えさせることを通して、母親思いに気付かせる。 自分も同じような経験をしたことがないのかを問うことで自分を振り返れるようにする。
<p>5 本時の課題について話し合う。</p> <p>(1) 物を大切にするとどうということなのかについて意見交流を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで使い切る。 きれいにていねいに使う。 雑に扱わない。 なくさないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで話し合いをする際に今までの自分はどうかだったのか、友達の考えはどうかを伝えるように声をかけ、主体的に話し合えるようにする。 Teams を活用し、グループで考えた意見をまとめさせる。
<p>6 今までの自分を振り返りこれからの自分の考えをタブレットに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> これからは、えんぴつを最後まで使い切りたい。 これからは、買った服をきれいに着て、大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を通して、感じたこと、これからの生活でどうしていきたいかをタブレットに記入させ、価値の内省化を図る。 Teams を活用することで、発表が苦手な児童などの考えも共有できるようにする。
<p>7 友達の振り返りを知り、感想を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇さんの考えがいなと思いました。 〇〇さんの意見を見習いたい。 	<div data-bbox="885 1848 1380 1982" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評)自分の生活を見直し、物を大切にすることの良さに気付いて節度のある生活について考えている。(タブレット・発表)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 色々な友達の考えを見たり、聞いたりすることで自分の考えをさらに深められるようにする。